



多治見市政記者クラブ同時配布資料
岐阜県政記者クラブ加盟社 各位



令和6年2月7日(水) 岐阜県発表資料			
担当課	担当	担当者	電話番号
岐阜県 現代陶芸美術館	広報担当	立花 昭	代表 0572-28-3100 FAX 0572-28-3101

はじめ おうじきんらんできくもんふたつきおおかさりつぽ
人間国宝 加藤土師萌作の飾壺「黄地金欄手菊文蓋付大飾壺」(高さ1.5m)
を初公開します

岐阜県現代陶芸美術館では、加藤土師萌(※)の絶作であり、皇居宮殿に納められた「りょくじきんらんでかさりつぽ もんふたつきおおかさりつぽ緑地金欄手飾壺(萌葱金欄手菊文蓋付大飾壺)」の姉妹作を、令和5年度に新規収蔵し、そのお披露目となる下記展覧会を開催します。宮殿用の飾壺の制作過程は、加藤本人によって詳細な記録が綴られており、完成直前に死去しているため家族が仕上げて納品したエピソードも残されています。これまで、この記録から同じ色による2本のスペアが同時期に制作されていたことは分かっていましたが、本作はこれらと時を同じくして作られながら、近親者以外誰にも知られることなく、今日に伝わったものです。一般には非公開となっている宮殿の作とは色違いですが、圧倒されるほどの大きさ、上品な金欄手の装飾など重なる部分も多く、是非、間近でご覧ください。



加藤土師萌「黄地金欄手菊文蓋付大飾壺」
1968年制作

※ 明治33年(1900)現在の愛知県瀬戸市出身。大正15年(1926)から昭和14年(1939)まで岐阜県陶磁器試験場(現:岐阜県セラミックス研究所)勤務。その後、横浜で独立して作家活動をおこなう。昭和36年(1961)色絵磁器で重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定。昭和43年(1968)死去。飾壺制作の無理がたたったとも言われる。

- 1 展覧会 うつわの(大)(中)(小)展 大きさから、やきものを解剖する
- 2 会場 岐阜県現代陶芸美術館ギャラリーI (多治見市東町4-2-5)
- 3 会期 令和6年(2024)3月16日(土)~5月26日(日)
- 4 休館日 月曜日(ただし4月29日、5月6日は開館)、4月30日、5月7日
- 5 内容 初公開の加藤土師萌による「黄地金欄手菊文蓋付大飾壺」など収蔵品約100点による、うつわの「大きさ」の意味に着目した展覧会

プレス内覧会 3月15日(金) 15時~17時 岐阜県現代陶芸美術館